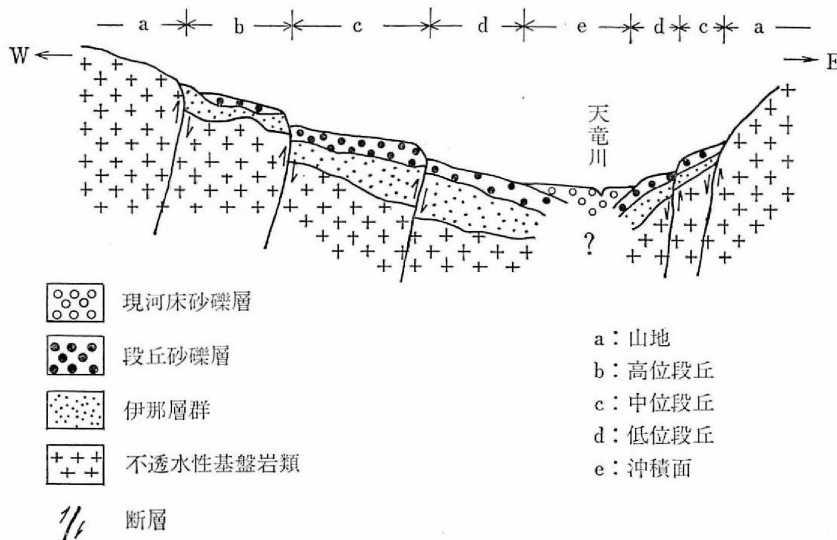


地形・地質

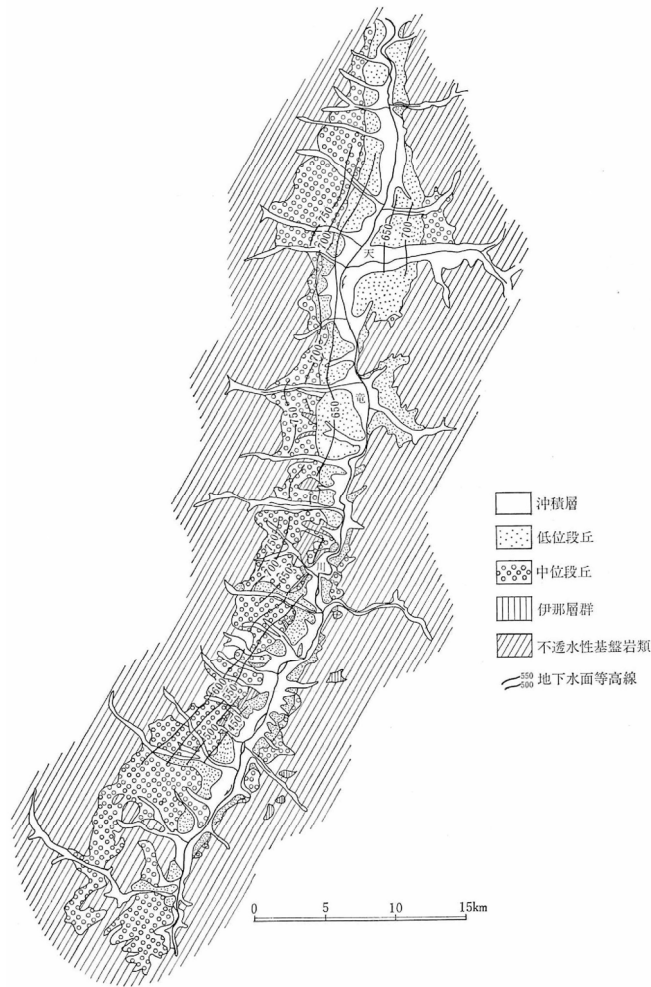
伊那谷は、木曾山脈と伊那山脈とに挟まれた、最大幅 7km、延長約 53km の天竜川沿いの狭長な盆地です。段丘の発達のよい地域で、一般に高・中・低位の段丘群に分けられています。

地下水

伊那盆地の不透水性基盤は、主として中生代の花崗岩類からなり、主な帯水層は鮮新～更新世の伊那層群・更新世の段丘堆積層および現河床堆積物です。段丘崖には湧水がいたるところにあります。



伊那盆地模式断面図



時代	地質層序		帯水層の評価
第四紀	完新世	沖積層	氾濫原堆積物 厚い砂礫層最もすぐれた帯水層 (不圧)
	更新世	低位段丘群	木下礫層—古町礫層 南殿礫層—名子礫層 10~15 m以上の砂礫層良好な帯水層 (不圧)
		中位段丘群	神子柴礫層—飯田礫層 10 m±の砂礫層やや良好な帯水層
		高位段丘群	大泉礫層—大島礫層 高尾礫層 礫層が薄く、風化も進み、帯水能は劣る
第三紀	?	伊那層群	伊那層上部 久米・親田礫層 (ミソベタ泥流) 堀越層 固結度がやや高く、帯水能は悪い
中生代	花崗岩類 (不透水性基盤岩類)		不透水性基盤 裂か水が期待される

伊那盆地の水文地質概要図と水文地質層序表

出典 日本の地下水 (農業用地下水研究グループ, 1986) (一部加筆)

「日本の地下水」では全国の地下水盆の概要が紹介されています。各地下水盆の概要を紹介している頁と関連する論文等を、下記の Web ページで閲覧できます。

<http://www.jagh.jp/jp/g/activities/committee/research/gwdb.html> (日本地下水学会)